

PC-Mapping Ver. 6

JSP・SIMA-DM フォーマット
インポート / エクスポート 説明書

平成16年4月

平成16年10月(改定)

株式会社 マブコン

目 次

1. インストール	2
2. 構成		
2.1. メニュー	3
2.2. プロジェクト	3
3. 機能		
3.1. エクスポート	4
4. コマンド処理	6
5. 備考		
5.1. 分類コード、図形区分の入力について	6
6. 更新履歴	7

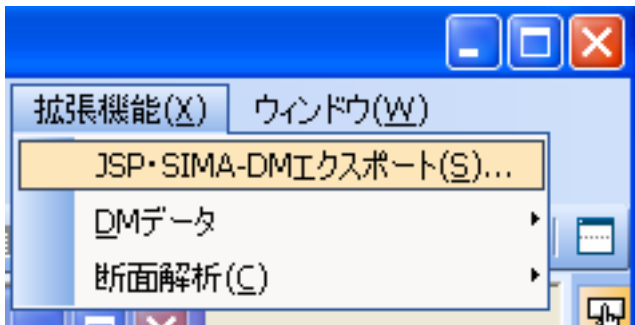
付録

PC-Mappingの設定と JSP・SIMA-DMフォーマットとの対応

1. インストール

Sima-DM 作成 KIT は、プロテクタ装置により機能の認識を行いますので、インストールの必要はありません。更新時は、Pcm.exe の更新と同時に行われます。

プロテクタ装置に「Sima-DM 作成キット」ライセンスが登録されていれば、プロジェクトが開いている状態で[拡張機能]-[JSP・SIMA-DM エクスポート]メニューが表示されます。ライセンスは、「PcmLicIDCheck.exe(ライセンス確認プログラム)」で確認することができます。(「Sima-DM 作成キット」は、DM 作成キットと同根となっております。)



2 . 構成

2 . 1 . メニュー

JSP・SIMA-DM データエクスポート

PC-Mapping で作成・編集したデータを JSP・SIMA-DM フォーマットのファイルとして出力します。

2 . 2 . プロジェクト

JSP・SIMA-DM データ作成用プロジェクトは以下の内容となっています。

- ・プロジェクトは図葉単位で作成されます。
- ・詳細は、付録「PC-Mapping の設定と JSP・SIMA-DM フォーマットの対応」をご覧ください。

* JSP・SIMA-DM データは、現場の測量データである為、図郭情報を持ちません。

PC-Mapping では、データの存在から自動で図郭を決めております。

3. 機能

3.1 JSP・SIMA-DM エクスポート

プロジェクトを開いた状態で、[SIMA-DM データエクスポート]を選択すると、[SIMA-DM エクスポート]ダイアログボックスが表示されます。パラメータを入力して【OK】ボタンを押すと、現在開いている PC-Mapping のプロジェクトから JSP・SIMA-DM データフォーマットを作成します。



エクスポートするファイル

エクスポートする JSP・SIMA-DM データフォーマットのファイル名を入力します。

右側のボタンをクリックすると、[ファイル名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

座標

出力する JSP・SIMA-DM データフォーマットの座標を選択します。ラジオボタンで「XY(2D)」または「XYZ(3D)」を選択します。

点(E5)は実データなし

ON の場合：点 (E5) データの座標値を「代表点の座標値」にセットし
実データレコードは作成しません。

円・円弧フラグ有功（円・円弧の図形区分として出力）

ON の場合：レコードタイプ の 円(E3)、円弧(E4)を有効にします
(但し、「JSP・SIMA-DM データフォーマット」では、
円及び円弧は使用しないものとなっています)

OFF の場合：レコードタイプ の 円(E3)、円弧(E4)を 線分(E2)として
出力します

同時にエクスポートするレイヤ

デフォルトで、【すべて選択】状態になっています。

レイヤ名をクリックし、DM データフォーマットとしてエクスポートする
レイヤを指定できます。

【すべて選択】ボタンで全レイヤが選択状態となり、【すべて非選択】ボ
タンで全レイヤが非選択状態となります。

【OK】ボタンをクリックすると、[SIMA-DM データエクスポート中です]のメッセー
ジボックスが表示され JSP・SIMA-DM データフォーマットのファイルが作成されます。

*分類コードの値が0以下10000以上の場合は、出力されません。

また、出力レコードが1件も無い場合は、ファイルは作成されません。

4 . コマンド処理

コマンドラインバーからの入力ダイアログボックスが表示されます。

JSP・SIMA-DM エクスポート

DmfExport

5 . 備考

5 . 1 . 分類コード、図形区分の入力について

Pcm6.036(B27463)以前にインポートしたレイヤのアークまたはポイント内部属性には「Pen」「Symbol」フィールドがあり、「分類コード」「図形区分」フィールドの値を計算フィールドで結合、描画キイに使用していました。

しかし、このデータ構造は、ベクタの数が多いと計算フィールドの再描画及び DM 拡張描画に大変時間がかかります。

対処方法としましては、

「Pen」「Symbol」フィールドを「分類コード+図形区分」フィールドに名称を変更し、計算フィールドチェックボックスを Off にします。

「分類コード」フィールドの計算フィールドチェックボックスを On にし、

<分類コード+図形区分> / 100

と記述します。

「図形区分」フィールドの計算フィールドチェックボックスを On にし、

mod(<分類コード+図形区分>, 100)

と記述します。

いままでは「分類コード」「図形区分」フィールドに値を入力していましたが、今後は「分類コード+図形区分」フィールドに分類コード(4桁)+図形区分(2桁)、計6桁の数値を入力します。

Pcm6.036(B27463)以降にインポートしたレイヤのアークまたはポイント内部属性には「分類コード+図形区分」「分類コード」「図形区分」フィールドが上記のような設定になっております。

6 . 更新履歴

2004 年 10 月

「Pen」「Symbol」フィールド廃止。「分類コード+図形区分」
フィールド追加